

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援 はっぴー・デイズ			
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 9日		～	令和 8年 4月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名 (9世帯)	(回答者数)	8名 (8世帯)
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 9日		～	令和 8年 4月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 4月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと、ご家族様から事業所ご利用の満足度 ・子どもたちのことを十分に理解し、子供たちの特性に応じた専門性のある支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援の特性を生かして、子どもたちに担当職員が継続的に支援することで信頼感を得てもらう。 ・保護者様のお迎え時に、その日の出来事や支援内容を共有する。 ・子どもたちや保護者様と情報共有した内容を職員間でも共有して支援にフィードバックする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや支援終了後すみやかに情報を共有する
2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと、ご家族様からの提供支援への満足度 ・子どもたちのことを十分に理解し、子供たちと、保護者様のニーズや課題が客観的に分析された上で作成された個別支援計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様のお迎え時に、その日の出来事や支援内容を共有して支援に反映する。 ・子どもたちや保護者様と情報共有した内容を職員間でも共有して個別支援計画作成に反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者以外が支援した場合の内容も共有する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所設備および清潔感 ・フロアの生活空間とバリアフリーおよび構造化 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、利用開始前に職員全員で個室及びフロアの清掃 ・扉を吊り下げ式にすることで居室間の仕切り（段差）を無くしクローザーで閉まる勢いも調整している。 ・子供たちが手に取りやすいように各棚はできるだけ低いものを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な大掃除と設備の定期的なメンテナンス ・支援中の子供たちの動線内に不要なものが目に入らないような配慮。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や認定こども園、幼稚園および地域との交流機会 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園など在地籍児童の通う園への訪問機会はあるが事業所全体としての交流機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様の課題で取り組み不足が否めない。在籍児童の通所先の園への交流機会のアプローチや地域のお祭り等への参加などを再度検討してみる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様同士の交流の機会 ・保護者様に向けた研修会やペアレントトレーニングなどの提供機会 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援により、ご家族様ごとに、ご利用曜日や時間が異なるため全体の調整が困難である。 ・相談内容やケースによっては、ペアレントトレーニングとなることもあったが、あくまで個別で全体としての機会がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらも前年度からの継続課題ではあったが個別の点では、それなりにご評価いただいているが全体としての取り組みが必要。 ・現状、年2回の交流会として「夏まつり」と「クリスマス会」を実施しているが、研修会やペアレントトレーニングを提供する日程や時期の調整について検討してみる。 ・保護者様同士の交流を望まれない方もいらっしゃるかもしれないので、そのあたりに配慮した交流方法の検討。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止マニュアルをはじめとする各種マニュアル類や避難訓練等の周知について。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアル類の策定及び整備はしているが広報、周知活動の不足が原因と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての改善が必要と捉えている。 ・事故が起きた際に振り返りを実施して安全対策について強化している。 ・各種マニュアル類については閲覧できるような工夫と訓練についても機関紙への掲載やSNS等を通じて、ご家族様方にもあらためまして周知していくよう努めます。 ・年間計画を通じて毎月社内研修を実施しており参加できなかった職員にも後日周知している。